

令和3年度 第1回義務教育学校開校準備委員会【議事要旨】

令和3年6月15日（火）18時～

日野町山村開発センター大集会室

1 開 会

（出席者）下村敏彦、山田二郎、安達才智、末次邦彦、渡部紀子、青江邦弘、伊田忠人
緒形明朗、遠藤和也、長谷川真由美、砂流誠吾、長谷部崇樹

（欠席者）廣瀬俊介

2 あいさつ（安達委員長）

3 協 議

（1）校章の選定について

【資料についての説明】（事務局）

- ・資料1について。校章募集（公募）の際配布した案内文書。
- ・資料2について。応募作品32作を一覧にしたもの。校章のみ。
- ・資料3について。応募作品32作品応募の際、応募者の作品への説明や思いも含めた資料。選定の際、説明や思いの部分も参考いただきたい。
- ・裏表の表（シート）について。本日の選定、スケジュール確認等の協議の際、メモ用として使っていただくもの。自由に使用してください。

【選定の方向について】

【本日の委員会のゴール設定】

①校章選定の方向（どのように選定するか）について、決めること。②校歌制定の方向（作詞、作曲）をどのように進めるのかについて確認すること。

- ・選定の仕方について。事前に委員長と事務局でも相談したところ。本委員会で決めてしまうのか、これまで（校名選定の際）のようにある程度周囲（所属等）から意見を求めるのか。
- ・今日初めて資料を目にしたが、色々な思いも書かれているので本日だけでは迷う所もある。各団体の代表も集まった組織（委員会）なので、それぞれの団体の意見も聞いた方が良いのでは。
- ・最終的には本委員会で決定となると考えるが、それぞれの団体からの意見は聞いた上での「最終決定」の方がよいのではないか。

○最終決定については次回。それぞれの団体からの意見を持ち寄る。

○今日の委員会で委員からの意見を聞き、ある程度絞ったものを各団体に提示。

- ・校章が、どういう場面でどういう形で使われるのかについてもたたき台にしておきたい。使用場面、配色なども含め。
- ・選定の際の基準や視点となる部分もある程度考えていきたい。
- ・現在使用している校章は、思いもしっかり込められた上、とてもシンプルで良い。

- ・今風のデザインが多いと感じるが、校章を見ると「日野学園」だなど、分かるようなものがよい。
- ・色については「この色」かどうか。

→「選考主体で補作をすることがある」という案内もしている。公募の際、送っていただいた文面の中にも「デザインについて要望があれば応じます。」と書いてくださっているものもある。その辺りは、必要に応じ応募された方と連絡をとりデザインの変更も可能と考える。

- ・華やかな彩色のものもあるが、「単色で使用すると…」というイメージも持った上で選定することも必要かもしれない。

【委員会内での作品に対する意見】本日

- ・ 5、25番。シンプルなデザインがよい。
- ・ 4番。「人と人を大切に…」日野の雰囲気合っている。カラーならば26番か。
- ・ 3番。旗や体操服などへのデザインを考えた時、シンプルで良い。色々なロゴがある中、「学校」ということが分かるものもよいかと。
- ・ 25番。モノクロ、単色を考えると…。シンプルかつ思いの部分も…。3番。シンプルかつ日野学園をしっかりと表している。
- ・ 6番。日野町が良く分かる。羽ばたく様子。7番。日野の流れで優しく包まれながら育ち、羽ばたいていく様子がふさわしい。2番。輪の中に囲まれて、温かい。輪、和、色々な「わ」を感じられる。
- ・ 3、6、20、24、25番。翼がよい。ただ、見たことのあるようなロゴも…。裏（確認）もとらなくてはならないのでは？中に入っている「学」だと、どこか分からない印象も…。20番は、よく考えられている。アマチュアさんの作品かもしれないが…。
- ・ 文字が入っていない方がよいと考えた。あっても一文字。3番、9番、20番あたり。25番、26番などは、文字が無くてもよいと思う。
- ・ 4番、9番、20番。文字が入っていても1文字であったり、デザインの中に文字が組み込まれていたりするものがよいと思う。
- ・ 2番、7番。説明、思いは両方とも同じような感じ。ぱっと見この2つ。カラーなのでゴチャゴチャ見える感じもあるが、単色だとよいかも。かもしれない。
- ・ 8、9、10、20番。「日野学園」など、はっきり文字が表記されているものは向かない印象。あえて文字を入れるならば7、8番あたりかと考える。25、26番などは、制服などにエンブレムとして入れるならば格好はよいかも。かもしれない。どこにどのように入れるのかにも関わる部分。

(↑ここまでが委員会での校章についての意見)

【確認事項】

- 今回の委員会で意見が出たもの（13作品）について、各団体に持ち帰る。
- 集約の方法については、各団体の意見を参考にした上で委員が判断し、それを加味したものを「委員意見」として次回持ち寄る。ある程度絞ったもの。（3作品程度）
- 細かい部分の校章修正（補作）については「可能」と考えてもらってよい。

【確認事項】 <前頁つづき>

- 団体ごとの意見集約については、できるだけたくさんの方々に伺えるように…。
- 方法については、「会をもつ」「文書配布による集約」など、それぞれの団体で工夫。
- 児童、生徒、先生方にも意見をもらう。
- 保育所についても、今後まさに「日野学園」当事者となるので、同様をお願いしたい。
(保護者さん、保育士さん、職員さんなど)
- 集約の期間についての目安：9月終わり～10月初を目途に

(2) 今後のスケジュールについて

【校章関係のスケジュールについて】

- ・校章が決定しないと次が進まない事項として考えられることは、校章旗、体操服、制服など、校章を付けていく必要があるものになると想定。

【校歌の作成スケジュールについて】

- ・これまでの委員会の中で出ている意見として「作詞について公募」「作曲は専門の方に依頼」「作詞作曲とも専門の方に依頼」等の意見が出ている。作成方向を確認しておきたい。
- ・資料として提示した中に「江山学園の校歌、歌詞募集」の資料あり。歌詞を公募された事例。
- ・歌詞→作曲？ 作曲→歌詞？ 流れとしてはどうなのか。
- ・歌詞については「公募」がよい。色々な思いが込められたものになる。
- ・「歌詞があるので、これを作曲いただきたい」という依頼の仕方にすればよいかも。
- ・作曲についてもこれまでも何人か挙げていただいている。
- ・歌詞については、地元の方やゆかりのある方ならば、歌詞をイメージしやすいのかもしれない。
- ・「フレーズ(言葉)」を募集するという案もあるが、フレーズだけ集めて後は依頼となると、依頼された方も厳しいかもしれない。
- ・校歌(歌詞)は、ある程度の文章。文章にメロディーをのせて行くイメージか…。公募という形で集めるのはよい方法だと考える。
- ・学校閉校の際、歌を作っていたことがある。「子ども達の思いを作ってください方」を募って、詞も曲も作っていたこともある。
- ・詞の中に地域の人にしか分からない情景や思いが込められる。そういった思いが込められていく校歌(歌詞公募)がよいのではないかと考える。

【確認事項】 校歌作成について

- 校歌の歌詞については公募を進める。作曲については依頼の方向で。
- 公募広報案作成(事務局)→委員さんへ配付→公募広報案校正(事務局)→公募開始

【その他のスケジュール関係】

- ・校章の話をする際に、その他の案件で話をしておいた方がよいものがあれば…。
- ・スクールカラーについて。体操服や制服などにも関わってくるかもしれない部分なので、保護者さん方の意見も伺いたいところ。
- ・今後、体操服や制服など、サンプルを準備する際、スクールカラー（候補）があればありがたい。
- ・何を持ってスクールカラーか。と言われると迷う部分もある。例えば「体操服の色は？」という表現でもよいので、意見がある程度あると有難い。
- ・中学校は「エンジ」がスクールカラーと言える。校章がエンジ、ユニフォームの文字や体操服など、色々な所でエンジが使われている。新しい学校にもエンジを残したいなという思いもある。

◎「話題」としてでも挙げていただけると有難い。

- ・R4末に閉講式を計画されることになると思う。そこに係る予算が生じる。今年度末には当初予算として計上しなければならない流れになると思うので、このことも視野に入れて委員会をお願いしたい。
- ・校旗、校章旗などについても、来年度作らなければならないものとして挙げられる。町費の計上が必要なものについては、早目に検討し、頭出しが必要。

→とりあえずの頭出しを事務局にて整理。（予算関係）

【再確認事項】

（１）次回までに…

- 校章のこと ○スクールカラーについて（話題の1つとしてでも…）
- 次回（校章決定の会）…9月末～10月初めくらいを想定

（２）校歌について

- 公募の原案を事務局が作成→委員に「案」を配付→案を集約し、公募開始
- ※公募関係の準備確認は、文書のやりとりで進める。
- 作曲については、候補があれば次回、または次回までに事務局に…。

4 その他

- ・制服等については、次回準備できるものがあれば、事務局が準備する。
- ・次回委員会については、上記の通り9月末～10月初めを想定（校章選定の会）。これまでに協議が必要な案件が出た場合は、事務局が委員長と相談の上、招集。

5 閉会